



佐織中だより

～ 多様な「幸せ」実現 ～

愛西市立佐織中学校

第34号

令和6年2月9日

(発行者) 佐古 達哉

♪ 3年かけて学ぶ「性」

先週の火曜と水曜に行った1年生の保健体育の授業は、養護教諭の大城先生も協力をして2人体制で実施をしました。今回の授業は、本校で3年間を通じて系統的に学びを深めるよう進めている「性」に関する授業の「最初の一步」となっています。

今回の授業では、①「いのち」が生まれる過程を学びつつ、「いのち」そのものがいかに尊いものであるかについて考える内容と、②昨年に法改正が行われた「性的同意年齢」に関する内容に触れ、性に関する正しい理解・判断が誰の人生においても大切である、という2つの内容を学ぶ内容で構成しました。



ちなみに、各学年でそれぞれ行ってきた今年度の「性」に関する授業は、今回の1年生の授業で終わりとなりました。それぞれに取り組んだ授業内容は、これまでも学校だよりや学校ホームページなどでお伝えをしてきましたが、各学年が実施をした今年度の「性」に関する授業を一覧にまとめると以下ようになります。

(学習指導要領に沿った保健体育等で定められた学習内容については、掲載を割愛しています)

実施学年	授業名	主な内容
1年	保健体育「心身の機能の発達」	いのちが生まれる過程 性的同意年齢
2年	総合「いのちの授業」	妊娠のしくみ 赤ちゃん抱っこ体験
	総合「思春期講座」	性行為の意味とリスク 性と人権・多様性について
3年	総合「思春期講座」	性感染症について がん教育

私たち「大人」が育ってきたこれまでの時代は、例えば男女が別々の場所に分かれて、自らの性に関する内容だけを先生から教えてもらうような授業が行われていたように、男性・女性がお互いの「性」に関する内容には「(公然とは)触れてはいけないこと」のような風潮がありました。今思えば「どうして？」と首を傾げたいような扱いを、「性」に対して長年続けてきたように思います。以前お伝えした2年生「思春期講座」の講師の先生が言われていたように、「性教育は人権教育」という意識を今の子どもたちが当たり前のようにもち、「性=触れてはいけないもの」ではなく、「性」を正しく理解し、自分も含めたお互いの存在を大切

にし合う社会を築く「礎」として、性を学ぶ取組が未来につながっていったらと心から願います。

ぜひご家庭でも、学校で取り組む授業をきっかけにいただき、活発に「性」について話す雰囲気を作って、お子様の健やかな成長に役立てていただけたらと思います。

♪ 生徒がつくる学校生活

1日（木）の授業後には、後期の生徒会執行部・各クラスの議員・学年運営委員の代表などが集まって「生徒議会」が開催されました。今回の議題は「（かばんなどに付ける）キーホルダーをどうするとよいか？」という内容で、さまざまな視点から意見交換がされていました。

今回の生徒議会で話し合われた内容は職員会議で先生方に報告され、そこで先生方から出た意見が生徒議会へ再度報告された上で、最終的な案として議会でまとめられたものが「生徒会ルール」として学校生活に生かされていくことになります。集団のルールを決めるのは、さまざまな立場・視点を踏まえると本当に難しい作業だと思いますが、「多様な『幸せ』実現」を実行する素敵なみなさんの取組を、学校みんなで応援していきたいと思っています。

